

「第4章 中国自動車産業研究開発拠点ダイレクトリ総覧」より

**申込方法**  
当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.jp) による受付も行っております。

世界自動車産業専門調査会社  
**FOURIN**  
(フォーイン)

〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292 ㊦イビル  
TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147  
http://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

**申込書 中国自動車部品メーカーの技術開発最新動向** (HP)

● 体裁:A4判/209頁 ● 2008年12月発刊

価格120,000円+税  
国内送料込み

(株)フォーイン行 **Fax: 0120-0000-73**

年 月 日

御社名 \_\_\_\_\_

御利用部署名 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

御住所 (送付先) \_\_\_\_\_

TEL番号 \_\_\_\_\_ FAX番号 \_\_\_\_\_

E-mail address \_\_\_\_\_

(フリガナ) 御担当者氏名 \_\_\_\_\_ 御役職 \_\_\_\_\_

通信欄 \_\_\_\_\_

# 中国自動車部品メーカーの技術開発最新動向



中国自動車部品47分野76社、外資系自動車部品27社の  
技術開発の最先端を総合調査する

- 2010年代に向けて中国自動車産業が目指す技術獲得戦略を分析
- 製品分野別に現地系サプライヤー76社の戦略技術をピックアップし技術トレンドを分析
- 世界最大級R&D拠点構築へ、外資系サプライヤー27社の中国研究開発戦略の最新動向を掲載
- 主要自動車メーカー・サプライヤー・素材設備メーカーの中国R&D拠点一覧表を収録

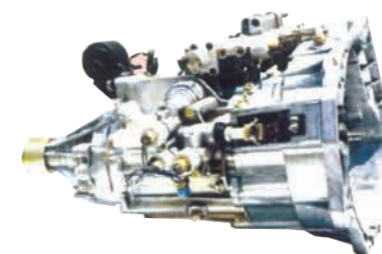
■ 体裁:A4判、209頁 ■ 価格:120,000円+税 国内送料込 ■ 発刊:2008年12月

1,000万台市場を目前に控えた中国自動車産業において、外資系・中国系ともに自動車メーカーの淘汰が進み、勝ち組と負け組の差が一層拡大することが予測されます。自動車メーカーにとって、日米欧韓など自動車先進国とタイムラグのない先進技術が求められる一方で低コストの維持も求められるなど、先進技術と低コストを両立した部品調達が生き残りをかけた明暗を分ける重要要素となっています。

一方、品質と低コストを兼ね備えた中国製自動車部品の需要が高まる中、実力をつけ始めた現地系部品サプライヤーが現出し始めています。世界部品サプライヤーに比べ規模は小さく、特定分野に限定されるものの、自動車メーカーの現地拠点への部品納入のみに留まらず、外資系自動車メーカーの世界拠点にも部品輸出を拡大させています。中には、これまではもっぱら外資系企業からの技術供与に依存していたサプライヤーが新興国企業向けに技術供与を開始したりするといったケースも見られます。これに対し、技術力・資本力が豊富な外資系大手サプライヤーも中国でのプレゼンス拡大と共に開発の現地化を進め、技術優位を更に伸ばす戦略を加速させています。

本書「中国自動車部品メーカーの技術開発最新動向」は、2008年9月に刊行された「中国自動車メーカーの技術開発最新動向」の姉妹編として、中国自動車産業における研究開発動向を一体的に捉える調査資料集です。中国自動車ビジネスに携わる方々の経営戦略策定などの参考資料としてお役立ていただけるものと確信しております。

本案内をご高覧の上、関係各部署とご相談頂き、採用を賜りますようお願い申し上げます。



重慶青山のAMT (第2章18節より)



亜太機電の電磁ブレーキ (第2章45節より)



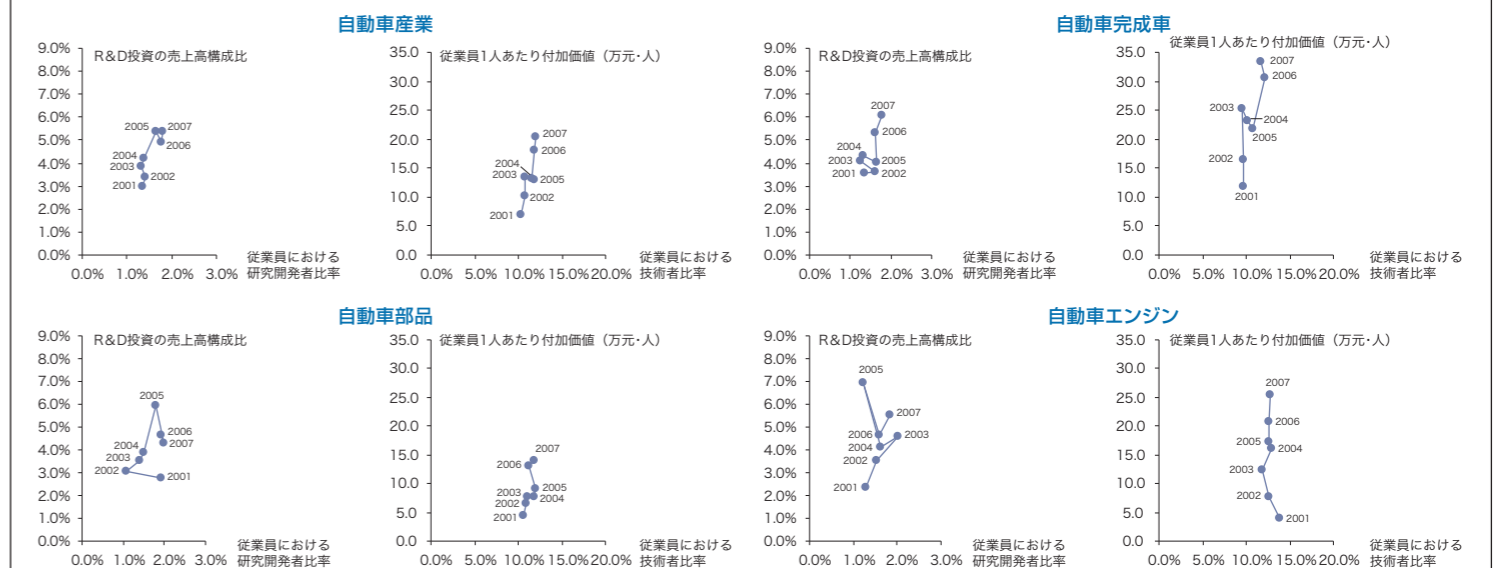
南京奧特佳冷機のスクリールコンプレッサー (第2章59節より)



錦恒集団のエアバッグアセンブリ (第2章63節より)

【中国、自動車産業分野別対売上高R&D投資構成比/従業員1人あたり付加価値・対従業員研究開発者比率の推移(2001~2007年)】

過去10年間で7倍の高付加価値化が進展した中国自動車産業



(FOURIN作成)

